

登録日 2010/11/29

登録番号 Renal 001

腫瘍名 腎細胞がん

申請診療科 泌尿器

投与スケジュール

Temsirolims			7日毎×PDまで	
			1コース	2コース
			1	8 ... (day)
①	ポラミン 生理食塩水	5 mg 50 mL	点滴 30分	↓
②	トーリセル 生理食塩水	25 mg 250 mL	点滴 30~60分 (* 初回は60分で投与し、 忍容性があれば2回目以降は30分に短縮可能)	↓
③	生理食塩水	50 mL	点滴 5分	↓

注意事項

- ・投与基準
間質性肺疾患以外の重度 (grade3、血小板はgrade2)の副作用が発現した場合は、回復まで投与を休止し、3週間以内に回復が認められ、再投与を行う場合には、投与量を1レベル減量して投与する。(減量レベル: 開始用量25⇒20⇒15⇒10mg)
- ・投与ルートのデバイス
0.5μmの孔径のフィルターを使用するため、
当院では「JMS輸液セット PVCフリー IVF ポンプ兼用(型番JP-PFC341F7)」のルートを用いる。
- ・併用薬(引用文献2を参考とした情報)
1)強いCYP3A4酵素阻害作用を有する薬剤(クラリスロマイシン、イトラコナゾール、グレープフルーツジュース、ポリコナゾールなど)と併用する際には、投与量を12.5mg/週へ減量する。
併用薬を中止した1週間後より元の投与量に戻す。
2)強いCYP3A4酵素誘導作用を有する薬剤(デキサメタゾン、フェニトイン、カルバマゼピン、リファンピシン、フェノバルビタール、セントジョーンズワートなど)と併用する際には、投与量を50mg/週へ増量する。併用薬を中止した後より元の投与量に戻す。
- ・B型肝炎の再活性化に対する検査や処置を行うよう添付文書に注意記載あり。

- 1)添付文書
- 2)Oncology Nursing Drug Handbook 2010(併用薬について)
- 3)Gary Hudes,Michael Carducci,*et al.* Temsirolimus,Interferon Alfa,or Both for Advanced Renal-Cell Carcinoma. *N Engl J Med*; 356, 2271-81 (2007).